

すこやかちゃん



おおま ひろな まと
凰大ちゃん・尋奈ちゃん・眞斗ちゃん

(平成19年1月14日生・平成14年5月16日生・平成15年5月25日生)
両親＝鈴木直大・奈穂子さん〔中谷里〕
「おおまは我が家のアイドル☆
おおまが笑えばみんなスマイル！」



あやね
彩寧ちゃん(平成18年9月14日生)
両親＝太木寛美・裕子さん〔井戸野〕
「かわいい歯が生えてごきげん♡
笑顔でハイポーズ！」



れいか
怜華ちゃん(平成17年11月22日生)
両親＝小林英雄・香織さん〔江ヶ崎〕
「ブランコ大好き♡
公園によくいるので一緒に遊ぼ～よ!!」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室 ―旭モノ語り― 第二十九回

黒虎相撲

去る十一月三日、袋太田神社で黒虎相撲が執り行われました。この相撲が現在のように復活したのは平成四年のこと。境内の記念碑には、その経緯と由緒が刻まれています。

それによれば、安永九年(一七八〇年)、太田村出身の江戸商人が、御影石の大鳥居を奉納、霜月朔日に落成祝いとして奉納相撲を行ったことが始まりだといえます。昭和初期までは盛大だったものの、その後衰退、しかし地元の熱意により、現在のように文化の日の行事として定着しました。黒虎相撲の名の由来は、玄人と素人がとったから、という説があります。

太田神社には当日、本殿の前に土俵が姿を見せます。土俵を囲む四本の柱に巻かれた布は、それぞれの色が四季と天の四神を表します。東の緑柱は春の青龍、南の赤柱は夏の朱雀、西の白柱は秋の白虎、北の黒柱は冬の玄武。この天の四神は、土俵の守護神なのです。ちなみに、柱のない国技館の土俵上にも、この四色の巨大な房がぶら下がっています。テレビでご確認を。

もともと、相撲は男性が神前でその力を披露し、奉納する神事から始



まったといわれています。独特な作法や礼儀が重んじられるのも、こうした歴史があるためです。

四股を踏むのは、その土地の邪気を鎮めるため。塩をまくのは、邪気を追い払い、土俵を清めるため。奉納相撲では、とりわけ大切な所作です。ふんどし姿の子どもたちは、寒さに負けず、思い切り塩を振り、取り組みを行います。そのたびにあげる歓声と応援の声。これからもそのパワーで旭の邪気を追い払ってくれることを願います。

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 4日(火) 人権週間(～10日(月))
- 8日(土) スターライトファンタジー(～25日(火))
- 10日(月) 冬の交通安全運動(～31日(月))
- 16日(日) 旭市民駅伝大会(8:20～ 東総運動場)
- 23日(日) 天皇誕生日
- 28日(金) 市役所仕事納め

編集後記

今年も、あつという間にと1か月。年齢を重ねると1年が早く感じられるといいますが、そう感じるということは、それだけ年を取ったということでしょうか。その1年の締めくくりといえば大掃除。普段、我が家の掃除を手伝わない私は、不用品を分別するにも一苦労。恥ずかしながら、これは何ごみだろうと迷うこともたびたび。予定していた時間はオーバーし、あわててごみを出していく羽目に。掃除に限らず、何事も早目の準備が大切だと感じます。(S)